

【 エコアクション21 】

環 境 経 営 レ ポ ー ト

2022 年度

(対象期間： 2021 年11月1日～ 2022 年10月31日)



項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反， 訴訟等の有無	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12

□ごあいさつ

当社は創業以来、「お客様によろこんでいただける仕事を通して社員の幸福と企業の発展を追及し、地域社会に貢献できる企業をめざす」ことを経営理念とし、社員一人ひとりが常に「**創意、誠意、熱意**」をもって仕事に取り組むことを基本にして参りました。

近年の時代の変化と共により高度なニーズに対応すべく、日々たゆまない研究と開発に努めておりますが、世の中の変化は益々加速し、価値観の変化あるいは多様化は一層の拡大を見せております。

時代は高度情報化社会へと突入し、留まることを知らない技術革新を続ける一方で、20世紀型の大量生産・大量消費・大量廃棄から循環型への転換は遅々として進まず、地球の温暖化や資源の枯渇など、自然環境に多大な負荷を与え、このままでは人類の生存そのものが脅かされる可能性さえ出てきています。

当社は環境経営システム【エコアクション21】を構築し、われわれの事業活動が人と環境との調和、人と社会との発展に少しでも寄与出来るよう取り組んでまいります。

株式会社 谷電気

代表取締役 谷 政智

環境経営方針

＜環境経営理念＞

人と環境との調和、人と社会との発展に寄与できるよう従業員一丸となって環境経営システムの継続的な改善に取り組み、当社の事業活動を通じ社会に貢献することを目指します。

＜環境保全への行動指針＞

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- ※ 2 . 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ※ 3 . 廃棄物分別の推進で排出量の削減、リサイクル率の向上に努めます。
- 4 . 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5 . 環境に配慮した物品の購入を推進します。
- 6 . 環境に配慮した製品の使用及び工事に努めます。
- 7 . 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

※重点項目

改定日： 2018年11月10日

代表取締役 谷 政智

□組織の概要

更新日：2020年11月10日

(1) 名称及び代表者名

株式会社 谷電気

代表取締役 谷 政智

(2) 所在地

本社 兵庫県洲本市千草乙147番地

倉庫 兵庫県洲本市千草乙256-1番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 芝 信行

TEL：0799-22-4697

担当者 鯛 満弘

TEL：同上

(4) 事業内容

電気工事業、消防施設工事業、土木工事業、管工事業、建築工事業

(5) 事業の規模

売上高 661 百万円

	本社	倉庫			合計
従業員 名	17 名	0 名			17
延べ床面積 m ²	142 m ²	509 m ²			651

(6) 事業年度

11 月 1 日 ～ 10 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

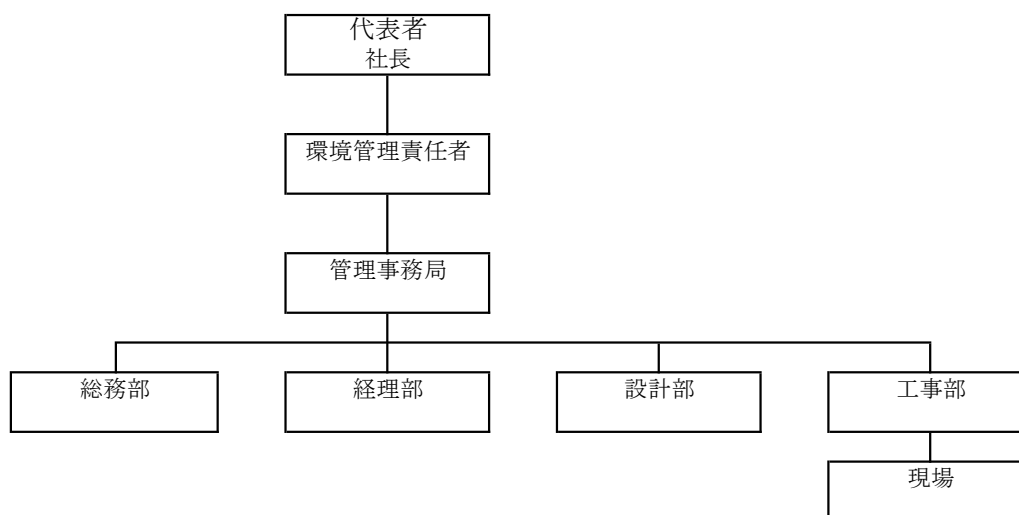
登録組織名：株式会社 谷電気

対象事業所：本社

倉庫

事業活動：

電気工事業、消防施設工事業、土木工事業、管工事業、建築工事業



	役割・責任・権限
代表者（社長） 谷 政智	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者 芝 信行	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局 鯛 満弘	・環境管理責任者の補佐、管理事務局の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
管理事務局	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長 総務部 芝 信行 経理部 谷 礼子 設計部 横道 弘成 工事部 森 健一	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	59,042	72,787	57,046
一般廃棄物排出量	トン	0.217	0.210	0.214
産業廃棄物排出量	トン	34.28	19.15	12.61
総排水量	m ³	61	59	64

※二酸化炭素排出係数 0.334 kg-CO₂/kWh 2018年度関西電力の調整後排出係数を採用。

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

項 目		年 度		基準値	2022年		評価	2023年	2024年
					2021年11月～ 2022年10月31日				
				(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2		6,511			5,408		※1 2019年度以降原単位目標に移行	※1 2019年度以降原単位目標に移行
	基準年度比		2009年			83%			
(電力) 売上高原単位削減	売上高(千円)		395,000			661,733			
	kg-CO2/千円		0.0165	0.0150		0.0082	○	0.0150	0.0150
	達成率					184%			
	基準年度比		2022年	91%		50%		91%	91%
自動車燃料による二酸化炭素削減	Kg-CO2		57,558	51,227		50,619		※2 2021年度以降原単位目標に移行	※2 2021年度以降原単位目標に移行
	基準年度比		年			99%			
(化石燃料) 売上高原単位削減	売上高(千円)		395,000			661,733			
	kg-CO2/千円		0.1457	0.1326		0.0765	○	0.1326	0.1326
	達成率					173%			
	基準年度比		2009年	91%		52%		91%	91%
一般廃棄物の削減	k g		240	216		214	○	216	216
	達成率					101%			
	基準年度比		2010年	90%		89%		90%	90%
産業廃棄物の削減	t		78.44	70.60		13.55	○	70.60	70.60
	達成率					521%			
	基準年度比		2009年	90%		17%		90%	90%
建設副産物のリサイクル率の向上	%		90.86%	99.04%		97.42%	×	99.04%	99.04%
	達成率					98%			
水道水の削減	m³		115	102		64	○	101	102
	達成率					160%			
	基準年度比		2017年	89%		56%		88%	89%
環境に配慮した工事の推進(太陽光発電、エコキュート、照明のLED化の推進件)	件数(トータル)		—	10件(トータル)		15 件	○	10件(トータル)	10件(トータル)
	達成率					200%			
環境保全活動の参加	回/年		—	3 回/年		2 回	×	3 回/年	3 回/年
	達成率					33%			

※1. 2019年度以降は売上高原単位(kg-CO₂/千円)を目標とする。

※2. 2021年度以降は売上高原単位(kg-CO₂/千円)を目標とする。

※3. 灯油は少量の為、目標に設定していない。

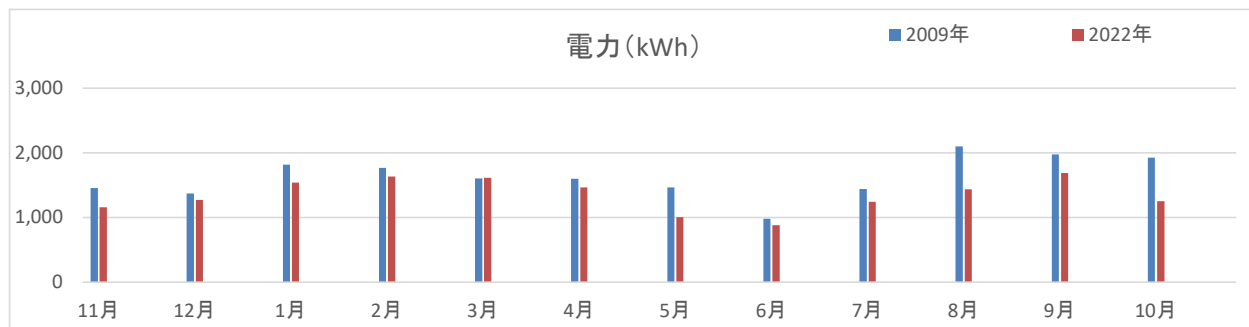
※4. 化学物質の使用はありません。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

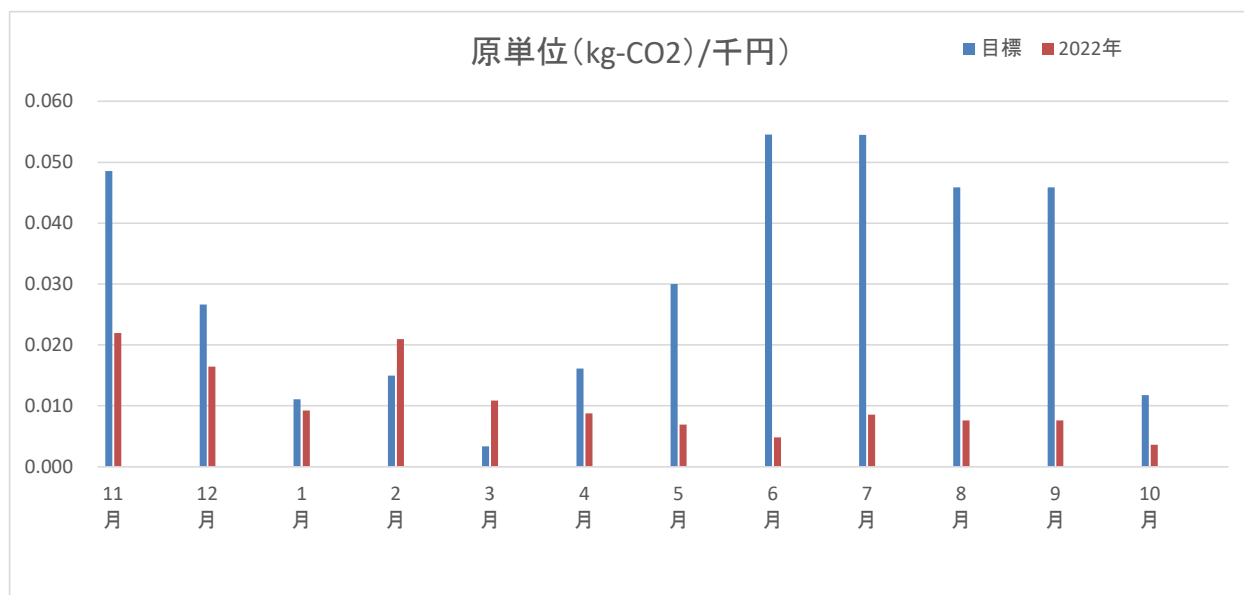
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	活動状況	取組結果とその評価
(電力) 売上高原単位削減		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	昨年度に続き売上が順調で、kg-CO2の累計においても基準年度の83%と順調で有った。
・各空調機の温度設定の確認。		基本的な節電に取り組み、作業の効率化・仕事の分業による全体の業務時間の削減に次年度以降も取組ます。



電力使用量

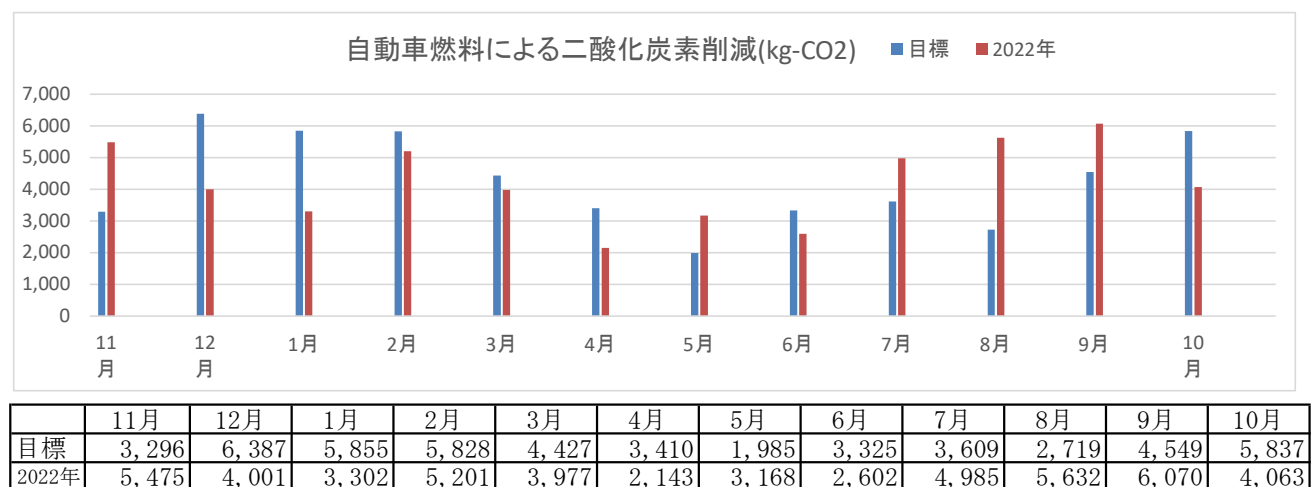
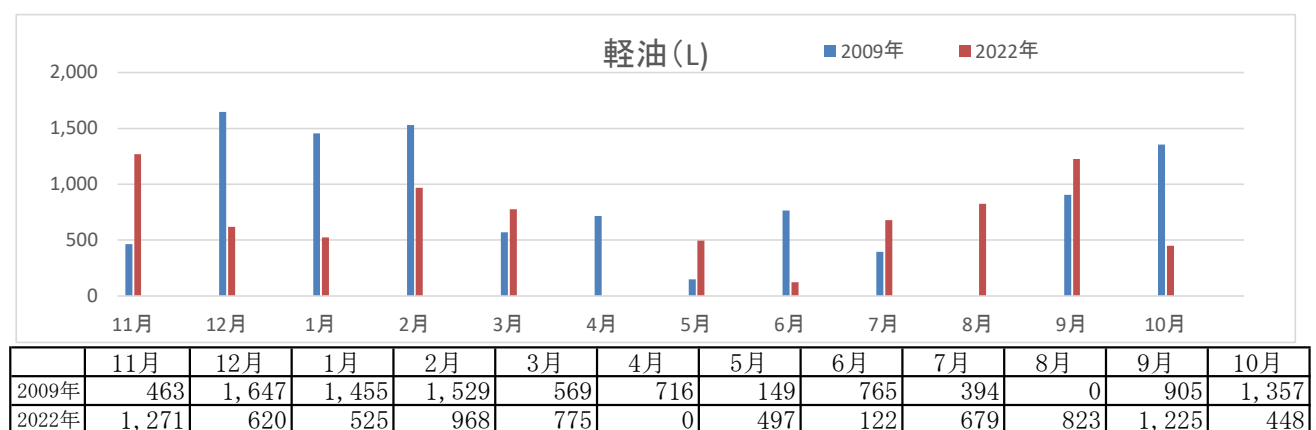
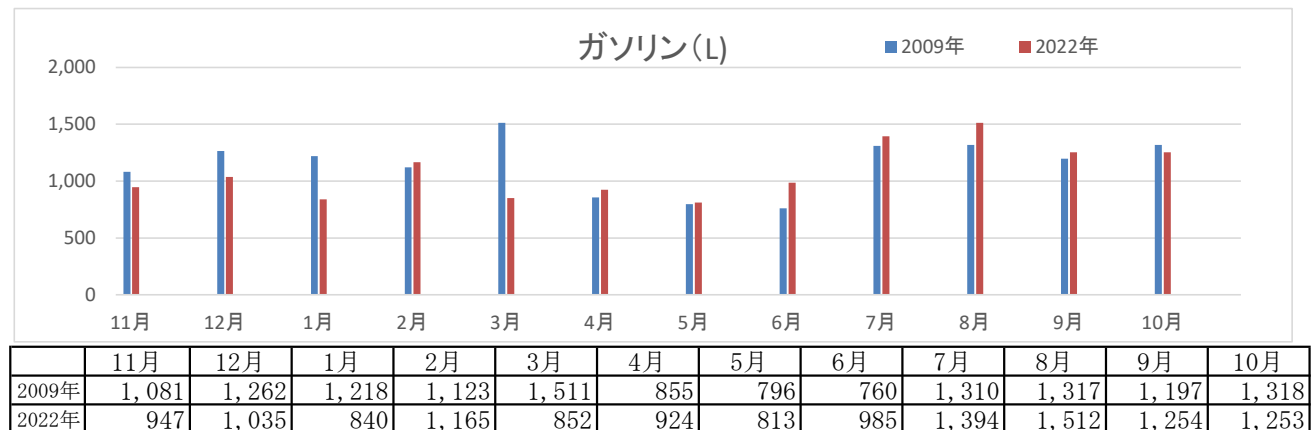
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2009年	1,452	1,369	1,816	1,767	1,607	1,600	1,468	980	1,440	2,097	1,976	1,921
2022年	1,155	1,275	1,538	1,632	1,615	1,468	1,005	881	1,244	1,435	1,689	1,255



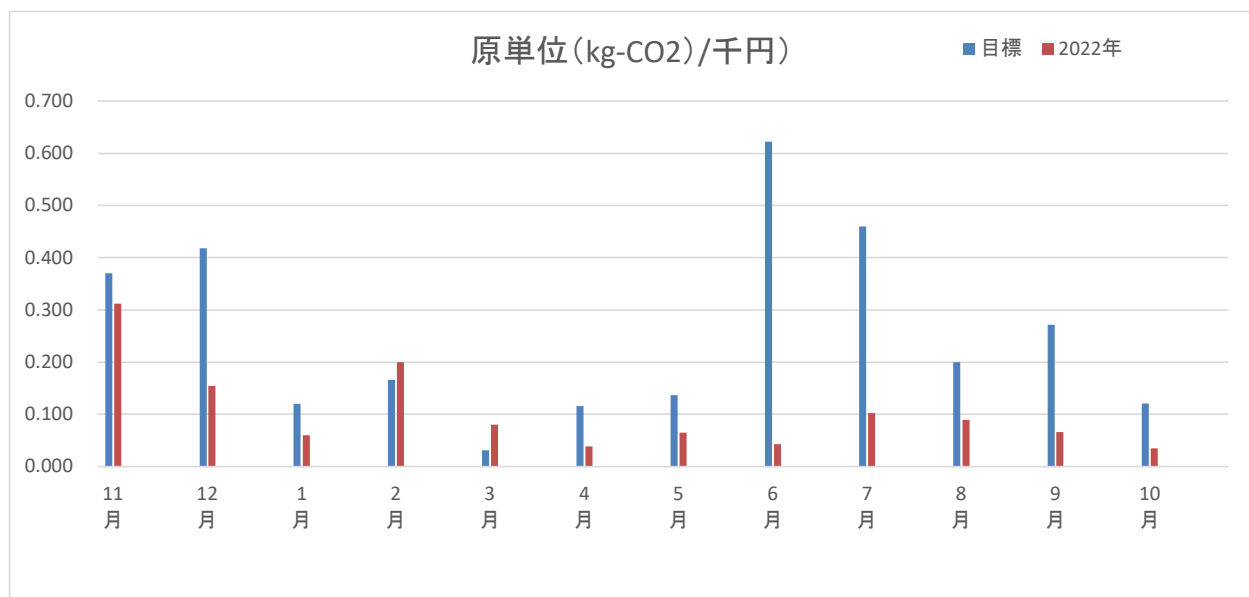
原単位（売上高に対する。）

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
目標	0.049	0.027	0.011	0.015	0.003	0.016	0.030	0.055	0.055	0.046	0.046	0.012
2022年	0.022	0.016	0.009	0.021	0.011	0.009	0.007	0.005	0.009	0.008	0.008	0.004

自動車燃料による二酸化炭素削減	活動状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	電力の使用量と同じで売上が順調で有ったので目標を達成する事が出来た。Kg-CO2の累計値では基準年度比87.9%と厳しかった。
・相乗り運転を心がける。		年間を通して効率の良い運転を意識し、毎月の売上の動向にも注意して次年度以降も取り組みます。



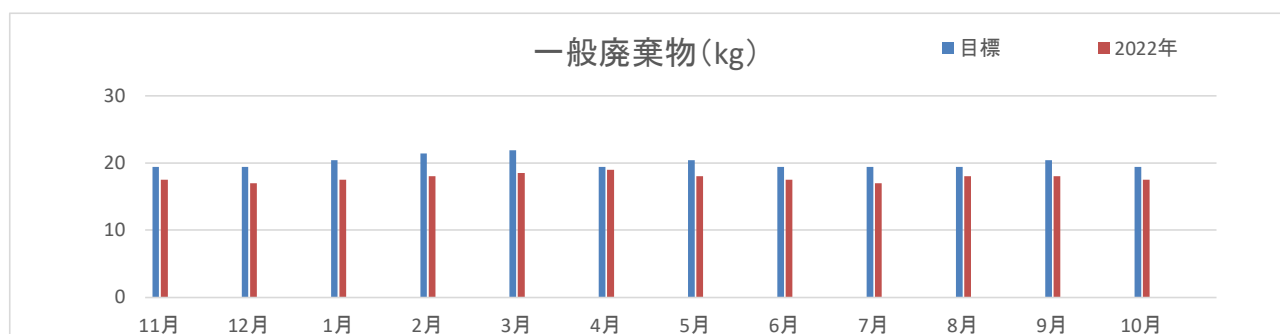
(化石燃料) 売上高原単位削減	活動状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	電力の使用量と同じで売上が順調で有ったので目標を達成する事が出来た。Kg-CO2の累計値では基準年度比87.9%と厳しかった。 年間を通して効率の良い運転を意識し、毎月の売上の動向にも注意して次年度以降も取り組みます。



原単位（売上高に対する。）

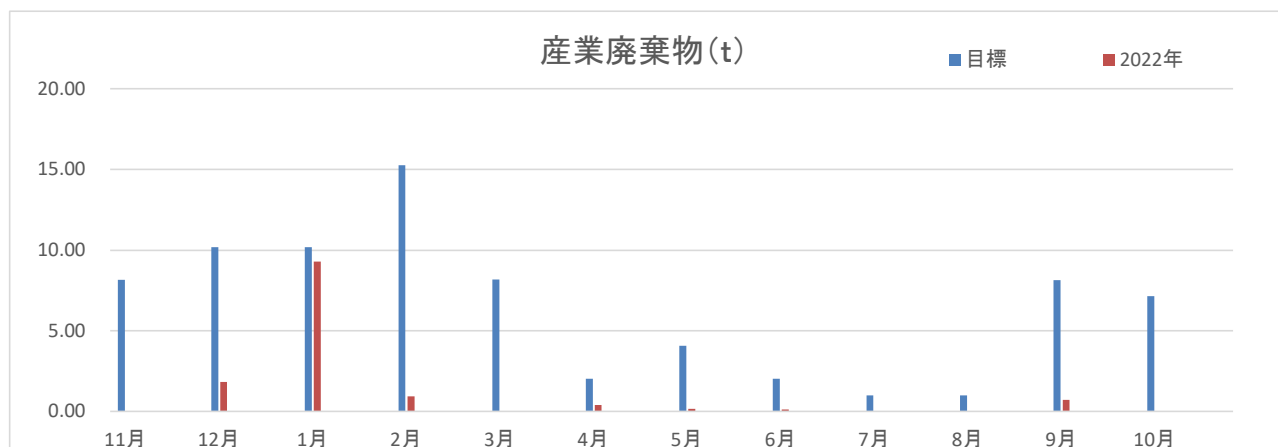
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
目標	0.371	0.418	0.120	0.166	0.031	0.116	0.136	0.623	0.460	0.200	0.271	0.120
2022年	0.312	0.155	0.059	0.200	0.080	0.038	0.065	0.043	0.102	0.089	0.066	0.035

一般廃棄物の削減	活動状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	順調では有ったが結果がギリギリでした。 不要な資料ももらわない様に注意していきます。
・裏紙使用、書類管理のペーパーレスを推		



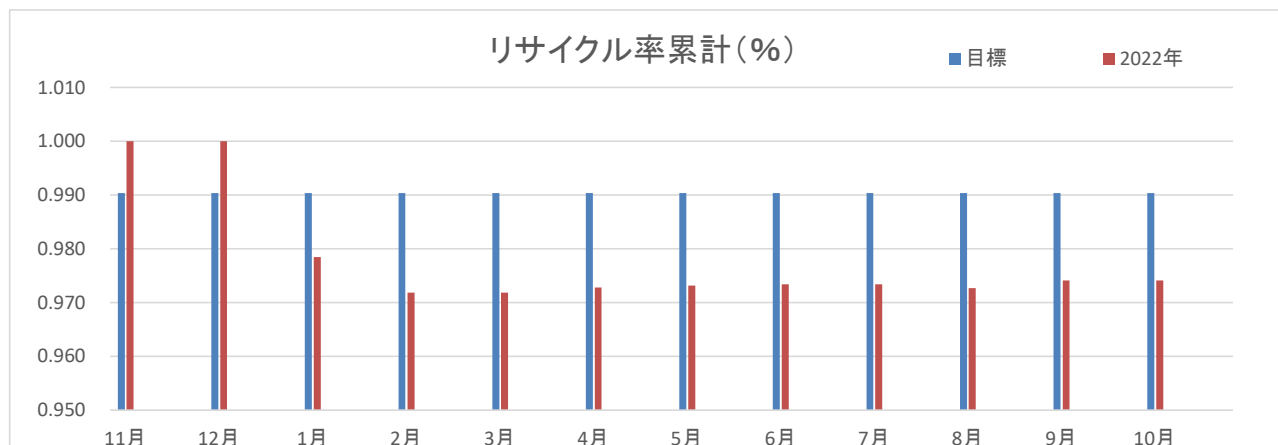
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
目標	19	19	20	21	22	19	20	19	19	19	20	19
2022年	18	17	18	18	19	19	18	18	17	18	18	18

産業廃棄物の削減	活動状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	産業廃棄物の発生する工事が少なかったことが目標達成につながっています。 発生量は請負工事の内容によるが、次年度以降も余分な廃棄物を出さない発注に努力致します。
・余剰資材の発注に注意する、		



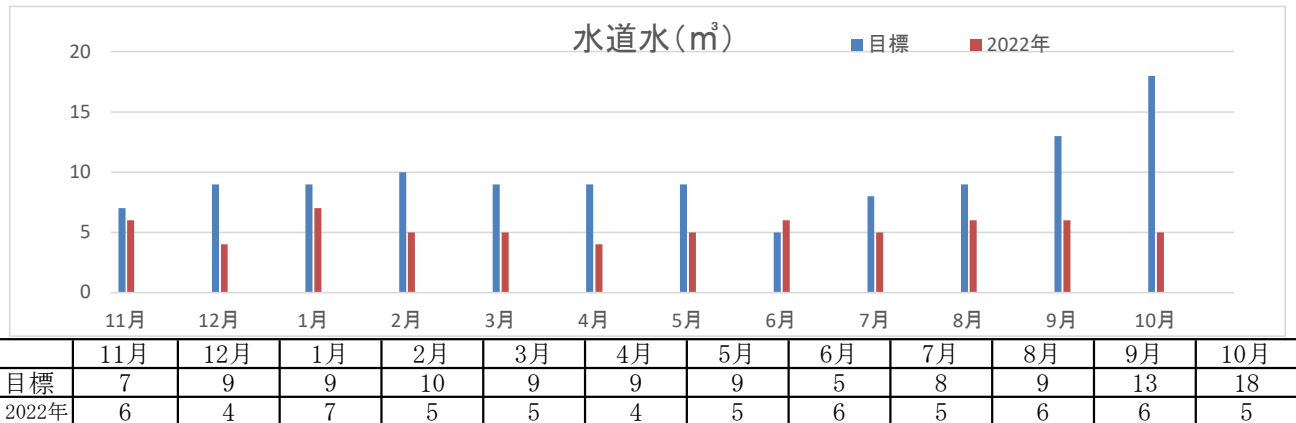
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
目標	8.16	10.18	10.18	15.27	8.18	2.04	4.07	2.03	1.01	1.01	8.15	7.14
2022年	0.02	1.84	9.29	0.95	0.00	0.41	0.16	0.13	0.00	0.03	0.72	0.00

建設副産物のリサイクル率の向上	活動状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	リサイクル可能な廃棄物の発生量を増やす以外に目標達成しづらい程の目標値になっています。 次年度以降は目標設定値を見直して取り組みたいと思います。
・こまめに分別する。		
・廃棄物は透明袋に入れて分別しやすくす		



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
目標	0.990	0.990	0.990	0.990	0.990	0.990	0.990	0.990	0.990	0.990	0.990	0.990
2022年	100.00%	100.00%	97.85%	97.19%	97.19%	97.28%	97.32%	97.34%	97.34%	97.27%	97.42%	97.42%

水道水の削減	活動状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	1年を通して順調であった。
・蛇口のコマめな開閉と蛇口のフルオープンを避ける。		次年度以降は目標設定値を見直して取り組みたいと思います。



環境に配慮した工事の推進	活動状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		順調であった。
1. 推進商品の省エネ効果の提案書作成・提		次年度以降は照明のLED化を外し、省エネ空調等の省エネ設備の実績件数を推進目標として取組ます。

環境保全活動の参加	活動状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	洲本市建設業共同組合主催の島内一斉清掃に参加する事が出来き、本来の全島一斉清掃の日が7月3日にあり、参加する事が出来たが目標の3回は達成出来なかった。
・情報収集し参加機会を増やす。		次年度以降も各取組に注意して参加の機会を逃さないようにして行きます。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	廃棄物処理業者の許可確認、マニフェスト交付・管理・保管、運搬時の表示・書類携行
騒音規制法	対象工事作業開始の8日までに市町村に届出（敷地境界線上で85dB以下）
振動規制法	対象工事作業開始の8日までに市町村に届出（敷地境界線上で75dB以下）
浄化槽法	保守点検、清掃、記録保管、定期水質検査の実施
フロン排出抑制法	登録フロン類充填回収業者へ適正な引渡し及び書類保管、対象機器の点検実施（空調機簡易点検記録は廃棄後3年間保存する。）

- ・環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
- ・なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。
- ・関係当局からの違反・指摘もありませんでした。

全体の評価

- ◆ 目標を原単位目標で取り組んでいる二酸化炭素排出量削減の目標値についてここ数年の売上高が好調で有るので、目標レベルとしてはそう高いものではないと評価している。
昨年度同様未達成の建設副産物のリサイクル率の向上については、目標値が高くなりすぎている。

見直し・指示

- ◆ 環境経営方針及び実施体制については現状のままで取り組む。
- ◆ 環境経営目標及び計画について、目標値が高い建設副産物のリサイクル率の値を次年度以降見直して新しい目標値にて取り組む事。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

